

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭62-71465

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和62年(1987)5月7日

F 16 H 15/38

8012-3J

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 転がり摩擦伝達装置用加圧装置

⑯ 実 願 昭60-162088

⑰ 出 願 昭60(1985)10月24日

⑱ 考 案 者 町 田 尚 前橋市山王町2-34-4

⑲ 考 案 者 大 越 秀 雄 藤沢市弥勒寺4-4-10

⑳ 出 願 人 日本精工株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目3番2号

㉑ 代 理 人 弁理士 岡部 正夫 外5名

## ㉒ 実用新案登録請求の範囲

動力源と転がり摩擦動力伝達装置間に配置されて伝達トルクに応じた押圧力を転がり摩擦動力伝達装置へと伝達するための加圧装置において、

該加圧装置は、動力源により回転せしめられる入力面と、入力面に対面して配置される出力面と、両面間に配置される転動体とを有し、

該入力面と該出力面とは互いに対向して転動体の転動面を与えるカム面を有し、

該カム面は正転方向最大トルク伝達に到るまでのカム移動距離が、逆転方向最大トルク伝達に到るまでのカム移動距離より大きくなるよう形成されていることを特徴とする転がり摩擦伝達装置用

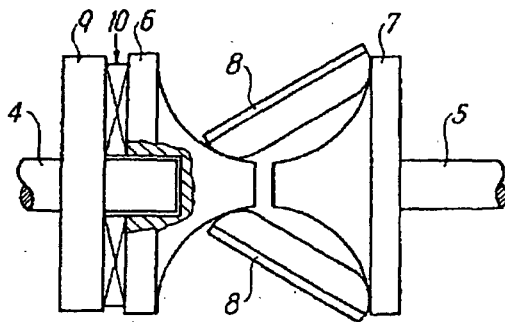
加圧装置。

図面の簡単な説明

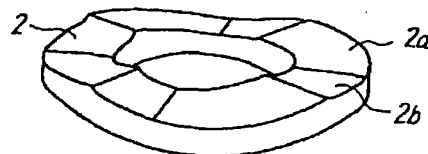
第1図は本考案による加圧装置を組み込んだ転がり摩擦伝達装置の概略図、第2図乃至第4図は加圧装置の作動を説明するための部分断面図、第5図は出力面を示すための斜視図、第6図は第2実施例の出力面を示すための斜視図である。

(主要部分の符号の説明)、10……加圧装置、1……入力面、2……出力面、3……コロ(転動体)、4……入力軸、5……出力軸、6……入力ディスク、7……出力ディスク、8……パワーローラ、9……押圧板、1a、1b……入力面のカム面、2a、2b……出力面のカム面。

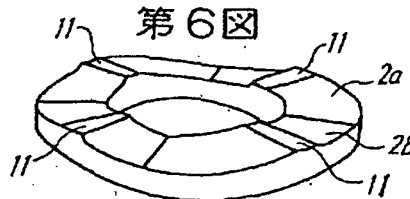
第1図



第5図



第6図



実開 昭62-71465(2)

